

授業科目	日本国憲法				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期				
担当教員	森 敦嗣										
授業概要	<p>日本国憲法は施行されてから 70 年以上がたとうとしている。現在、その憲法が内容を改正するかどうかの岐路にある。もし改正するとなると最終的に決定するのは国民投票であり、それに参加する主権者である私たち国民だ。いわば国民には日本国憲法の将来がかかっていると言える。憲法を改正するか現状維持かの選択権をもつ私たち国民には、日本国憲法がもつ意義と国民にとっての役割を考えることがいま求められている。</p> <p>本講義ではその憲法が持つ意義と国民にとっての役割を中心に、憲法における立憲主義の意義、日本国憲法における人権とその内容、そして憲法を支える統治機構についての解説を中心に授業を進める。中盤では、裁判所が現在実施している裁判員制度に注目し、この制度の意義について考えてもらう。その一環として、模擬裁判の動画の視聴し、その後学生たちには裁判員になってもらい、各グループでグループワークを行って判決文を書いてもらう。さらに後半では裁判員制度と関連するものとして死刑制度について解説する。講義では映像を混じえつつこの制度の是非を考えていく。終盤では憲法改正についてとりあげる。政府与党が現行憲法の何をどのような理由で変えようしているのか。改正に反対する護憲派の主張と比較しながら解説する。。</p> <p>毎回の授業では授業内容に即したレジュメを配布する。小テストに該当する課題としては裁判員制度のグループワークを行う。さらに授業内で取り上げる諸々の制度についてのレポートを適宜実施する。</p>										
授業形態	講義	授業方法	一部の授業においてグループワークを行う。								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 憲法の基本的な知識と用語を理解し説明できる (DP1-1)。 2. 日本国憲法がもつ立憲主義の意義と国民にとっての役割を理解し、自らの考えを説明できる (DP1-1)。 3. 憲法に関連する裁判員制度、死刑制度について、自らの考えを述べるができる (DP1-1) (DP3-2)。 										
理想的レベル	日本国憲法がもつ基本的な知識と用語、国民にとっての憲法の役割を理解・説明できる。憲法に関連する様々な諸制度の賛否について、自分の考えを論理的に述べるができる (DP1-1)										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合 (数値)				備考						
試験	60%										
小テスト	20%										
レポート	20%										
発表 (口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	CH10403J
学習課題 (予習・復習)										1 回の学習目安 (時間)	

<p>授業前に各回の授業内容に関わる部分を図書館、インターネット等を利用して調べておく と授業内容にスムーズに入ることができる。授業後は配布したレジュメの最後にある授業の まとめを使い、授業内容の復習を行う。</p>	4
授業計画	
第1回	<p>テーマ：イントロダクション 授業の概要と評価方法について、講義の動機づけ「なぜ憲法を学ぶのか」</p>
第2回	<p>テーマ：憲法総論（1） 憲法の理念、人権と統治機構の概要</p>
第3回	<p>テーマ：憲法総論（2） 立憲主義と民主主義について</p>
第4回	<p>テーマ：憲法総論（3） 平和主義の原理、自衛隊の存在と9条との関係について</p>
第5回	<p>テーマ：統治機構（1） 国会と内閣、首相公選制の賛否を考える、レポート課題①</p>
第6回	<p>テーマ：統治機構（2） 裁判員制度関連動画を使った模擬裁判①、裁判員として判決を考える（グループワーク）</p>
第7回	<p>テーマ：統治機構（3） 裁判員制度関連動画を使った模擬裁判②、裁判員として判決を考える（グループワーク）</p>
第8回	<p>テーマ：統治機構（4） 裁判員制度の意義と課題、裁判員制度の今後の継続に賛成派、反対派、それぞれの主張の解説</p>
第9回	<p>テーマ：基本的人権（1） 基本的人権の原理について</p>
第10回	<p>テーマ：基本的人権（2） 各々の人権の概要と公共の福祉について</p>
第11回	<p>テーマ：基本的人権（3） 包括的基本権と法の下での平等、何を以て平等といえるのか</p>
第12回	<p>テーマ：死刑制度の是非を考える 日本の死刑制度と死刑囚の生活について、死刑制度賛成派、反対派それぞれの主張の紹介、レポー ト②提出</p>
第13回	<p>テーマ：人権各論（1） 精神的自由権、経済的自由権、人身の自由</p>
第14回	<p>テーマ：人権各論（2） 社会権における国家と国民の関係、選挙権の特徴</p>
第15回	<p>テーマ：憲法改正、全体のまとめ ・なぜ今憲法を変えようしているのか、憲法改正の手続き、改正草案の解説 ・改正草案の解説と改正理由、護憲派の指摘する問題点について ・本講義全体の総括、試験対策について</p>
テキスト	<p>テキストは特に使用しない。代わりに毎回の授業においてレジュメ（プリント）を配布する。場合によ っては資料を配布する。</p>

<p>参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介</p>	<p>駒村圭吾／編『プレステップ憲法 第3版』（弘文堂、2021年） 伊藤真『伊藤真の憲法入門第7版——講義再現版——』（日本評論社、2022年） 村和男／監修『新装版 日本国憲法（ブティックムック no.1102）』（ブティック社、2013年）</p>
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>小テストに該当する判決文はグループワークのため、採点后各グループに点数を提示する。レポートは返却し、内容によってはコメントをつける。試験は成績発表後に回答例を提示する。 レポート含めた記述課題は、自分の主張が明確であること、その主張をする理由が理論的であり複数あること、さらに文体の統一を重視する。</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<p>参考文献はすべて購入する必要はないが一冊（特にプレステップ憲法）だけでも手元に置いておくことと理解しやすい。配布プリントの整理を心掛け、復習を中心に行ってほしい。またTVのニュースや新聞に日頃から目を通し今何が問題となっているのか把握しておくこと。 (注意事項) ・レポート、課題等の提出の締め切りは厳守。「正当な理由のない」期限を過ぎての提出は欠席となる。 ・授業妨害となるような私語や携帯、SNSの使用は厳禁とし場合によっては退室させる。</p>